

特集：2014年「オーディオ・ホームシアター展」より

オーディオ・ホームシアター展「音のサロン」報告

ラックスマン株式会社

日本オーディオ協会理事・音のサロン委員会委員長

小嶋 康

はじめに

全13社の委員からなる音のサロン委員会（注¹）では、本格的なオーディオコンポーネントによる良質の「試聴体験」をより多くの方々に提供するため、日本レコード協会等からの協力をいただきながら、千代田区立日比谷図書文化館や銀座山野楽器にて、定期的な「音のサロン」試聴会を開催してきました。

あらためて申し上げるまでもなく、当委員会のテーマは、スピーカーによる出力を主とした「良質な再生音楽の体験」の機会提供です。オーディオ市場の縮小によって極端に減ってしまったこの体験の場を、参加各社の力の結集により可能な限り数多く提供することが、極々近い将来の市場の活性化に結びつくものと信じて、全委員が精力的に活動しています。

オーディオ・ホームシアター展「音のサロン」

日本オーディオ協会のメインイベントである「オーディオ・ホームシアター展」は、音のサロン委員会にとっても、もっとも規模が大きく重要なイベントです。実施するプログラムや機材等については、年間を通して頻繁に話し合いの場を持ち、試聴されたお客様が再生音楽に対する感動をしっかりと持って帰っていただけるよう、時間をかけてじっくりと検討してきました。

特に今年は、これまでのスタイルを若干変更し、3日間の会期中のプログラム数を昨年の10から17に大幅増させ、ほとんど毎時0分には新しいプログラムが開始することを基本スタイルとしました。また、各社最新機材（D/Aコンバーター、アンプ、スピーカー）の比較試聴会を全9プログラムとし、音楽ジャンルをテーマとしたソフトウェアよりの試聴会とハードウェア紹介を中心にした比較試聴会の対比でメリハリをつけようという趣旨を盛り込みました。もちろん全体テーマである「ハイレゾ」を、再生ソースと再生機材の両方で対応させたことは言うまでもありません。

TIME24 ビルの18階研修室で開催された3日間の「音のサロン」プログラムは以下の通りです。

開催日	開催時間	タイトル・内容	講師・進行
17日 (金)	11:15~11:45	ハイレゾ対応 DAC 比較試聴会 (パート1)	音のサロン委員会各社
	12:00~12:30	ハイレゾ音楽配信を聴く	e-onkyo music

	13:15~14:45	女性ボーカルの魅力 ～SHANTI、上間綾乃、安倍なつみ、 幸田浩子、本田美奈子、美空ひばりを聴く～	日本コロムビア 岡野 博行氏
	15:00~15:30	ブルーレイディスク™オーディオで ハイレゾを聴く	キングインターナショナル ／ハピネット
	16:00~16:30	最新アンプ比較試聴会 (パート1)	音のサロン委員会各社
	17:00~17:30	最新スピーカー比較試聴会 (パート1)	音のサロン委員会各社
18日 (土)	10:15~11:30	SPレコードに残されたモーツァルトの 名演を真空管アンプで聴く	真空管オーディオ協議会 ／新 忠篤氏
	12:00~13:30	JAZZ オーディオの魅力を探る ～1990～2000年代のピアノトリオを聴く～	寺島 靖国氏／林 正儀氏
	14:00~14:30	ハイレゾ対応 DAC 比較試聴会 (パート2)	音のサロン委員会各社
	15:00~15:30	ブルーレイディスク™オーディオで ハイレゾを聴く	カメラータ・トウキョウ ／ナクスス・ジャパン
	16:00~16:30	最新アンプ比較試聴会 (パート2)	音のサロン委員会各社
	17:00~17:30	最新スピーカー比較試聴会 (パート2)	音のサロン委員会各社
19日 (日)	10:15~10:45	ハイレゾ対応 DAC 比較試聴会 (パート3)	音のサロン委員会各社
	11:00~11:30	ハイレゾ音楽配信を聴く	HQM STORE
	12:00~12:30	最新アンプ試聴会 (パート3)	音のサロン委員会各社
	13:00~13:00	最新スピーカー比較試聴会 (パート3)	音のサロン委員会各社
	14:00~15:30	価格帯別コンポの魅力を探る	麻倉 怜士氏

実施報告

会期中、約 70 席用意したイスは常にほとんど満席で、人気プログラムでは、身動きがとれないほどの立ち見のお客様で、部屋は熱気で湯気が立ち上るほどとなりました。

上記プログラム表の通り、ゲストによるスペシャルプログラム以外は、基本的にどの日に来てもほとんどの種類の試聴会を見ることが出来、実際に朝から夕方まで連続して参加されるお客様も複数いらっしゃいました。そして、およそ半分のプログラム(特にプログラム名にハイレゾと謳っていないものも含め)でファイルもしくはBDによるハイレゾ音源の再生を行いました。

今やハイレゾ再生時に他のメディアとの比較はしないデモがほとんどで、すでにその形態でしか音源が入手できない場合などもあるため、大容量・高音質だからという理由づけをせずとも、多くのお客様がひとつのメディアとして「ハイレゾ」を受け入れつつあるのを感じました。

結果として、例年以上にバラエティに富んだプログラム内容に沿って次々と手際よく機材やセッティングを入れ替え、スムーズかつスマートにお客様にプレゼンテーションしていく、という

難易度のとても高いミッションを、各委員の協力のもと、かなり高いレベルで実現することができたのではないかと思います。



ヤマハさんの全面協力により設置された全 30 枚の調音パネル



熱心に説明に聞き入る満員のお客様



SP レコードを DSD 化した音源をモノラル再生する新先生



日々の鍛錬により手慣れた手つきでスピーカーを変更する委員



大いに盛り上がった寺嶋さんと林さんの JAZZ 試聴会



デモ前日に行われた麻倉先生の試聴ディスク選定リハも毎年恒例

今後の「音のサロン」

無事に終了した今回の「音のサロン」でしたが、直後の委員会ではいくつかの反省点も挙げられました。まずは、プログラム数の増加により、機器の入れ替えが短時間で頻繁となり、若干お客様に対してせわしない見え方となってしまったこと。また、ゲストにお話いただくプログラムでは、時間の問題で少々内容が食い足りない結果となってしまったこと。そして、実施プログラム内容の掲示が広い部屋の中で充分でなく、来場されたお客様に対して不親切であったこと。などいくつかありましたが、各委員からは次回以降への改善案がその場でも積極的に提案されました。その結果として、今後はさらに啓蒙効果を高めた強力な「音のサロン」へと進化する姿が見えたことも事実です。

「オーディオ・ホームシアター展」が終わり、定期「音のサロン」は、レギュラーなメニューとして、銀座山野楽器と渋谷タワーレコード、そして日本オーディオ協会・会議室での「PC オーディオセミナー」と、多方面に向けての開催が予定されています。その中で、手応えのある方向をうまく見極めながら、各委員の協力をベースに、「音のサロン委員会」はさらに精力的に活動してまいります。

末節ながら、あらためまして協会加盟各社のご理解とご協力に感謝いたします。

(注¹) 音のサロン委員会 委員法人 (五十音順)

- ・ アキュフェーズ株式会社
- ・ 株式会社エミライ (OPPO Digital)
- ・ オンキヨーマーケティングジャパン株式会社
- ・ 株式会社クリプトン
- ・ スペック株式会社
- ・ ティアック株式会社
- ・ 株式会社ディーアンドエムホールディングス
- ・ 株式会社トライオード
- ・ 株式会社バッファロー
- ・ フォスター電機株式会社
- ・ 富士通テン株式会社
- ・ 株式会社ヤマハミュージックジャパン
- ・ ラックスマン株式会社

筆者プロフィール

小嶋 康 (こじま やすし)

ラックスマン株式会社 広報部/商品企画室

日本オーディオ協会理事